

チャペル週報

No.19

2012.10.22～10.26

あなた方を襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはずです。神は真実な方です。
あなた方を耐えられないような試練に合わせることはな
さらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道
をも備えてくださいます。

(コリントの信徒への手紙1 10章13節)



神戸三田キャンパス I号館

関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

- 10月22日(月) 神 児 島 莉 紗 (神学部4年)
経 舟 木 讓 (宗教主事)
人 共に生きる⑬ 表 谷 純 子 (人間福祉学部助教)
聖和 聖書物語「まいごのひつじ・おとうさん」
-
- 10月23日(火) ランバスチャペルアワー「神との絆」 ランバス記念礼拝堂
神 ランバスチャペルアワーに合流
文 上ヶ原ハビタットによるチャペル
社 動詞シリーズ「生きる」⑦ 打 樋 啓 史 (宗教主事)
法 栗 林 輝 夫 (宗教主事)
経 学生生活オリエンテーションⅡ
商 English Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
国 音楽チャペル ゴスペルクワイアP.O.V.
聖和 小 西 砂千夫 (人間福祉学部教授)
総 宇 梶 朋 子 (国際文化青年交換連盟日本委員会 事務局長)
-
- 10月24日(水) 神 ゴスペルクワイアP.O.V.による音楽礼拝
社 人権を考えるチャペル「自分らしく生きる」榎 てる子 (神学部准教授)、藤井 航 (神4)
法 「国連デーによせて」望 月 康 恵 (法学部教授)
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
商 寺 地 孝 之 (商学部教授)
人 上ヶ原ハビタット
国 楠 綾 子 (国際学部准教授)
聖和 実習報告「幼稚園実習を終えて」
理 「愛をもって互いに仕えよ」小 林 昭 雄 (名誉教授)
総 村 瀬 義 史 (宗教主事)
-
- 10月25日(木) 神 藤 井 航 (神学部4年)
文 音楽チャペル・バロックアンサンブル
社 動詞シリーズ「生きる」⑧ 神 田 孝 一 (社会学部事務長)
法 栗 林 輝 夫 (宗教主事)
経 学生生活オリエンテーションⅡ
商 水 野 敬 三 (商学部教授)
国 Rev. Bruce Bradburn (神戸ユニオン教会)
聖和 「校歌『空の翼』を歌おう」関西学院グリークラブ
お話:「輝く自由」広 瀬 康 夫 (グリークラブ技術顧問)
総 音楽チャペル 関西学院聖歌隊
-
- 10月26日(金) 院 中 田 道 隆 (神学研究科M2)
神 宮 川 眞 一 (日本キリスト教海外医療協力会 バングラデシュ派遣ワーカー)
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 上ヶ原ハビタット①
人 共に生きる⑭ 柴 田 学 (人間福祉実習助手)
聖和 田 淵 結 (教育学部宗教主事)
理 「進路変更」松 木 真 一 (宗教主事)
-

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂 (上ヶ原)
10月26日(金) 人間福祉学部のために 牧 里 每 治 (人間福祉学部長)

未知なるものへの関心

松 岡 克 尚

大学に入ってから、様々な未知なる世界の存在を知り、関心を抱くようになるという機会が多くなったのではないのでしょうか。もちろん入学以前から、そうした憧れを持ち、それを学びたいがゆえにこの大学の門をくぐった方もいらっしゃると思います。知らないことへの関心や憧れが、その人の進路や人生を決めるということは、考えてみればとても不思議なことかもしれませんね。

私ごとになりますが、「世界の国々」に関心を覚えたのは小学校1年生の時だったと思います。夏休みの宿題で世界地図を作製することになり、大小様々な、聞いたことのない名前の国や首都を書き込んでいくうちにワクワクしてきたことを覚えています。「世界って何て広く、多様なのか」と子供心なりに驚き、後は世界中の国名と首都名が言えるようになるというお決まりの道にまっしぐらでした。

私は聴覚障害を持っています。自分の住んでいる世界は「聴こえる」人の世界とはどうも違うのではないかということを認識したのは幼少の頃からだと思いますが、どちらかという否定的な意味合いでした。違うからダメ、という捉え方だったように思います。しかし考えてみれば、同じ日本人であっても、性別や出身地だけではなく、障害の有無ということだけ見ても、実に多様です。そして障害といっても、その部位によって様々です。「障害者」と括られていても、障害の部位が違えば、その人の世界を私は想像すらできません。更に言えば、私は「良く聴こえる」人たちの世界さえも知らないのですね。そう考えると、それまで当たり前に接していた「聴こえる」家族や友人たちが住む「世界」が不思議に思えてきました。聴こえる人の生活感覚が自分のそれとは違うので、そこからトラブルが生じたりします。そのことに気づかされ、「多様であることは良いことだ。違うことを恥じることはない。でも多様過ぎて意思疎通に欠けて対立したり、バラバラにならないようにするためどんな仕組みが必要か」ということをテーマに研究するようになりました。

未知なるものとは、「世界の様々な国」といったものだけではなく、身近なところにも多くころがっています。遠くの世界への憧れを育むことも大事ですが、身近な所にある未知の世界にも目を向けてみてはいかがでしょうか。

(人間福祉学部教授)

●ランバスチャペルアワー

学部の枠を超えて集まった学生たちが企画するチャペルがランバスチャペルアワーです。秋学期の予定は以下のとおりです。

10月23日(火)、11月20日(火)

いずれもランバス記念礼拝堂(上ヶ原)にて、10:35~11:05

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アブローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを実施しています。(18:00~18:20 1405教室)

10月26日(金) Andreas Rusterholz(文学部宗教主事)

11月2日(金) 田淵 結(教育学部宗教主事、宗教総主事)

11月9日(金) 樋口 進(宗教センター宗教主事)

11月16日(金) 田淵 結(教育学部宗教主事、宗教総主事)

●関西学院会館の日曜礼拝

授業期間中の第二第四日曜日に、教職員と学生有志による礼拝が行なわれます。一部英語を用いるバイリンガル形式です。どなたでも参加できますのでどうぞお越しください。

10月28日(日)

11月11日(日)、25日(日)

いずれも関西学院会館ベーツチャペルにて、10:00~11:00

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館の宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。(学生証等証明書必要)

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

●盲導犬育成のための募金にご協力お願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館はじめ各学部カウンターに募金箱を設置しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。